

わくわく にしこおり

令和 4 年 12 月 2 日

富田林市立錦郡幼稚園

園長室 NO. 4 2

もちつき ～いろいろなことを知り、いろいろな体験をしました。～

園務員の北川さんと協力してかまどに火を起し、順に蒸しあげていきました。薪を鉈(なた)で割りながらかまどに焼べ、蒸している様子を見ながら先生たちからいろいろな説明を聞いていました。たき火やかまどの火を見たことがない園児もいて、燃える火を和やかな目で見ておりました。蒸しあがったせいりのもち米は一臼(ひとつす)だけ石臼ときねでつきました。子どもたちは少しずつですが、小ぶりのきねを持って餅つきを体験しました。その石臼でついたお餅は、みんなで伸び具合を確かめたりしながら、餅花をつくり用意した枝に付けました。その後、職員が餅つき器について小餅にしたものをみんなでいただきました。砂糖醤油ときな粉をまぶしたものを食べました。とても美味しいとずいぶん個数を食べていた園児もいました。伝統的なことがらや行事にふれることの多い幼稚園の活動に心温まる思いがします。食べることを通して、美味しく食べるに至るいろいろな過程を大切に、共有していきたいです。

毎年この二人がかまどを担当しています。どのような薪を使っているか説明しています。先生が少しついた後、そら組から体験中

↓わいわいしながら飾る餅花を作っています。



続いて、はな組が体験 最後はほし組が体験しました。仕上げは、また先生がつきました。ふわふわの感触に大喜びのほし組のみんな



食べるお餅は先生方が機器でつき準備です。

美味しくて夢中で食べている人もいます。

こねて作った餅花を飾り付けしています。



お世話になっている方にお礼の気持ちを込めてプレゼント 左:校務員チーム 右:中上さん 22日に開催していただいた「PTA教室」

